

第 96 回 I L O 総会について

■ **会期等** 2007年5月30日(水)～6月15日(金)、於スイス・ジュネーブ

■ **我が国からの主な出席者**

政府側： 松野厚生労働大臣政務官、松井厚生労働省総括審議官、藤崎寿府代大使

労働側： 古賀連合事務局長、中嶋連合国際代表

使用者側： 御手洗日本経団連会長、鈴木日本経団連国際協力センター参与

■ **本会議の状況**

- **議長**： 地域ローテーションにより予定されていたアフリカ地域の候補者が一本化されず、副議長に就任予定であったアルバニアの候補が就任した。
- **事務局長報告**： 各国政労使代表の演説が行われた(我が国政府は松野政務官)。
- **グローバルレポート**： 雇用平等に関する事務局長報告に基づき討議が行われた。
- **ゲストスピーカー**： チリ大統領、ガーナ大統領、バーレーン皇太子、ジャマイカ首相、セネガル大統領、スペイン皇太子、スリランカ大統領

■ **各議題に係る議論の状況**

- **基準適用**： 基準適用委員会において、各国の条約の適用状況等に関する議論が行われ、我が国の第100号条約(男女同一賃金)の適用状況等が取り上げられた。
- **漁業部門における労働**： 漁業労働条約に関する条約案について、2005年の総会に次いで議論が行われ、漁業労働委員会において、我が国が提出した修正案が労使及び多数国の支持を得、それを反映した条約案が採択された。その後、同条約案が本会議において記名投票に付され、採択された。また、併せて関連の勧告及び決議が採択された。(いずれについても我が国政労使は賛成票)
- **持続可能な企業活動の促進**： ディーセント・ワーク(適切な仕事)実現に向けた一つのアプローチとして、持続可能な企業活動の促進を図るため、ILOが今後取り組むべき具体的な方策について、指針となる事項が持続可能な企業活動委員会において決議された。
- **IL Oの機能強化**： グローバル化の状況下におけるILOの機能強化について、2008年の総会での「宣言」など権威ある文書の採択を視野に入れ、議論を継続することが、ILOの機能強化委員会において決議された。
- **財政**： ILOの2008-09年予算について、前期比約8.0%増の約6億4千万ドルとする予算案が、政府のみをメンバーとする財政委員会における議論の後、本会議において記名投票に付され、採択された(我が国政労使は賛成票)。また、2008年の各加盟国の分担率も決定された(我が国は16.632%(▲2.853%)。)